

令和 3 年 6 月 17 日現在

機関番号：35409

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K02430

研究課題名(和文) アジア諸国における華僑・華人による大学運営実態に関する実証的比較研究

研究課題名(英文) Comparative Study on Governance at the Universities Founded by Overseas Ethnic Chinese in Some Asian Countries

研究代表者

大塚 豊 (Otsuka, Yutaka)

福山大学・大学教育センター・教授

研究者番号：00116550

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、華人人口が多い順にインドネシア、タイ、マレーシアの3か国を対象を絞り、国際比較と歴史分析の観点から、アジアで華僑・華人が創設し運営する高等教育機関の発展に内在する社会的・教育的諸要因を探求した。

とくに、漢語ないし華語教育に典型的に表れる彼ら自身の民族的アイデンティティ保持の度合い、当該国の高等教育政策や教育内容に関する基準との葛藤や矛盾、当該国の発展や中国との関係への寄与、の諸点について、文献・資料研究と関係者へのインタビュー調査と通じて解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

世界各国に生きる華僑・華人は当該国と中国との国際関係に翻弄され、種々の民族的軋轢を経験しながらも、経済活動を通じて得た巨万の富を使い、高等教育機関を創設し運営することが散見される。これらの機関は各国の高等教育の中で異彩を放ち、アジアの教育はそれらを抜きには語れない。しかしながら、従来はこれらの機関に光を当て、国際比較の観点から分析した研究はなく、本研究はその意味で画期的である。

研究成果の概要(英文)： This study based on a viewpoint of international comparison and historical analysis searched for social and educational factors which are inherent in development of the institutions of higher education founded and managed by overseas Chinese or ethnic Chinese people. The study chose three countries; Indonesia, Thailand, and Malaysia in order of large population of overseas Chinese or ethnic Chinese people in Asia.

Focusing on (1) degree of maintaining their ethnic identity typically appeared in Chinese language learning, (2) conflict and inconsistency with the higher education policy and standards for educational contents of the targeted countries, and (3) contribution to the countries' development and their international relations with China in particular, the present study clarified the involved factors through literature study as well as interviews with the persons concerned.

研究分野：比較教育学

キーワード：中国 華人 東南アジア 大学運営 民族アイデンティティ

1. 研究開始当初の背景

世界中に遍く生活する華僑・華人の約7割がアジアに住まうと言われるが、アジアにはこれら華僑・華人が創設運営し、彼らの影響を強く受けている大学が存在する。それは、1)グローバル化する世界の中で華僑・華人が自らのアイデンティティ保持のために設けた装置であり、また、2)現居住国の教育発展のために、自らの豊かな経済力を投じた具体的支援策の戦略的表現でもある。これらの大学は、所在国の対中国姿勢や国際関係との絡みの中で、当該国の国立大学や他の民族系私立大学とは微妙に異なる発展の経緯をたどっているように思われる。研究代表者は、中国を中心にアジア各国の教育と開発をテーマに長く研究を進めてきたが、研究過程で実施した東南アジア各国におけるフィールドワークの際に体得したことの一つは、それぞれの国に根を下ろし活躍する華僑・華人のパワーである。企業経営を通じて巨万の富を手に入れた華僑・華人が居住国において創設した大学は、とりわけ異彩を放っており、アジアの教育はそうした事実を抜きには語れないとの思いをかねてから強く抱いていた。

そこで、本研究は、これらアジアの中で華僑・華人に関わる諸大学に注目し、それらの発展に内在する社会的・教育的ダイナミクスを解明することに関心を持った。また、近年わが国でも、未だ大学レベルではないものの、在日華僑・華人が設置代表者として創設する日本語学校の急増が確認され、本研究課題は決して対岸の事柄でないとも考えられた。

2. 研究の目的

一般に華僑とは中国・台湾・香港・マカオ以外の国家・地域に移住しながらも、祖国の国籍を保持し続ける漢民族の呼称であり、一方の華人は現在の居留国生まれで居留国の国籍をもつ者を指す。華僑・華人は祖国を離れ、地球上のほぼ全域に根付いていると言っても過言ではない。これら華僑・華人は定住の地と決めた国において、当該国と中国との国際関係や彼らが歴史的に遭遇してきた種々の民族的軋轢の結果として、一般的には政治的な表舞台に登場することはそれほど多いとは言えないものの、経済界においては顕在的、潜在的な実力を発揮し、確固たる地歩を占めるケースが少なくない。彼らの圧倒的多数が居住するアジア諸国においては、彼らが創設運営したり、彼らの影響を強く受けていたりする大学が存在する。本研究では、そうした華僑・華人が深く関わる大学の当該国における教育発展に占める位置と役割に注目し、彼らが異境で自らのアイデンティティ保持のために如何なる戦略と具体的措置をとり、現居住国と父祖の地との狭間であって、居住国の高等教育発展のために如何なる支援策を講じて来たかについて、具体的、実証的に解明することが狙いであった。

本研究課題に向かって研究代表者らを突き動かした根本的関心事は、「華僑・華人は何故に父祖の地から遠く離れた居住国で大学を創るのか」である。その下位課題としては、大学創設は、彼らが当該国で主としてプレゼンスを示すことの多い経済界において、その経営的営為の延長として、さらに存在感をより知らしめるためなのか。それとも、むしろ教育的観点に立って、現居住国の高等教育の不備を補完し、その発展をサポートしようとの思いが優先した結果なのか。そのいずれであるにせよ、実際の教育実践の中で、漢語ないし中国語教育に典型的に表れる自らの民族的アイデンティティ保持への配慮がカリキュラム等にどれほど表れているか。そうした民族的アイデンティティの表現は、当該国の高等教育政策や国としての具体的な教育内容に関する基準と葛藤や矛盾を生じることはないのか。さらに、華僑・華人立の大学で育まれた人材は、卒業後にいかなるキャリアをたどり、当該国の発展に寄与したり、中国との関係を取り結んだりしているのか、等の解明を期した。

3. 研究の方法

上述した問題意識から設定した具体的な研究課題に対する答えを探り、アジアの中で華僑・華人が直接関わる諸大学を取り上げ、国際比較の観点と歴史分析の観点の双方から、それらの発展に内在する社会的・教育的ダイナミクスを解明することとした。

本研究の共同研究者はいずれも中国および東南アジア諸国の教育研究に長く携わってきた研究者であり、本研究課題に直結する研究業績も有しており、さらに対象国での長期にわたる滞在経験を有し、中国語(華語)ないし当該国の言語を自在に操ることができる。関連文献資料の収集・解析は、常日頃の研究活動の中で培われたものであり、本研究課題についても容易に適用することができる。現地調査では、インドネシア、タイ、マレーシアなど華僑・華人居住国の教育研究の専門家の協力を仰いで調査研究に当たる手法をとった。本研究参加者は日本人研究者のみの構成となっているが、研究代表者・分担者はそれぞれ各地域における海外研究者との間に常日頃から密接な研究交流関係を構築しており、実質的な国際共同研究となることが期待できた。こうした協働により、各人がこれまで蓄積してきた専門的知見を随時総合し、より深く多面的な解明や解釈が可能であった。

本研究の方法は、文献・資料研究と関連機関・関係者を訪問して行うインタビュー調査とからなり、両者の結果を組み合わせることによって、華僑・華人が運営に直接関わる大学の教育営為

に関する政策と実態に迫ることを期したい。しかしながら、本研究の対象である華僑・華人に関わる大学を擁するアジアの各国を網羅的に扱うことは、限られた期間内には不可能である。従って、当該国民中の華僑・華人人口が多い順にインドネシア、タイ、マレーシア、の3か国に考察対象を絞った。

4．研究成果

研究助成期間の3年間のうち、前2年間は当初の計画どおり所定の海外調査を含めて研究を円滑に遂行した。しかしながら、コロナ禍の発生により、海外はもとより、国内での移動も思うに任せない状況が続いた。そこで、最終年度の3年目には文献・資料研究ならびにオンラインによる情報収集に切り替え、研究成果の発表も別掲のとおり、リモート形式での学会発表を利用した。3年間にわたる研究で解明できた内容については、最終報告書『アジア諸国における華僑・華人による大学運営実態に関する実証的比較研究』（福山大学、A4版、全190頁）として、令和3年3月1日に刊行した。研究成果の詳細については、同報告書を参照されたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 牧貴愛 | 4. 巻 第6号 |
| 2. 論文標題 タイ華僑崇聖大学の存立基盤 社会奉仕の精神とタイ王室の庇護 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 大学教育論叢（福山大学大学教育センター） | 6. 最初と最後の頁 77-87 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 牧貴愛 | 4. 巻 1号 |
| 2. 論文標題 タイの基礎教育における格差是正措置 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会報告論文集 | 6. 最初と最後の頁 1-4 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 劉国彬 | 4. 巻 第6号 |
| 2. 論文標題 HSK試験の回顧と考察 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 大学教育論叢（福山大学大学教育センター） | 6. 最初と最後の頁 21-32 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 牧貴愛 | 4. 巻 第29回 |
| 2. 論文標題 タイと日本の学校管理職に求められる資質・能力 専門職基準の比較分析 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 国際開発学会第29回全国大会報告論文集 | 6. 最初と最後の頁 638 - 641 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 牧貴愛 | 4. 巻 第57号 |
| 2. 論文標題 一國研究または『教育の地域研究』における研究枠組みの構築 タイ教師教育研究を振り返って | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 比較教育学研究 | 6. 最初と最後の頁 4 - 12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 山下雅文、中矢礼美 | 4. 巻 第58号 |
| 2. 論文標題 日本の高大連携プログラム「スーパーグローバル」の事例から | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 比較教育学研究 | 6. 最初と最後の頁 121-136 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 劉国彬 | 4. 巻 第5号 |
| 2. 論文標題 変容する社会における大学の外国語教育の課題 / 福山大学の卒業生に対するアンケートから | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 大学教育論叢 | 6. 最初と最後の頁 23 - 38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 大塚豊 | 4. 巻 第7号 |
| 2. 論文標題 マレーシア華人系高等教育機関の発展に関する一考察 - 民族融和と敵対のダイナミズム - | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 福山大学 大学教育論叢 | 6. 最初と最後の頁 5-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Yutaka Otsuka | 4. 巻 Vol 4, No 2 |
| 2. 論文標題 Chinese Language Learning in Asia and the Ethnic Identity of the Chinese Posterity | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Jurnal Kependidikan | 6. 最初と最後の頁 308 - 330 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 牧貴愛 | 4. 巻 第6号 |
| 2. 論文標題 タイにおける私立高等教育に対する国家関与 高等教育関係法規の分析 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 福山大学 大学教育論叢 | 6. 最初と最後の頁 77 - 87 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 牧貴愛 | 4. 巻 第7号 |
| 2. 論文標題 タイにおける私立高等教育に対する国家関与 高等教育関係法規の分析 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 福山大学 大学教育論叢 | 6. 最初と最後の頁 27 - 35 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 劉国彬・中矢礼美第 | 4. 巻 第7号 |
| 2. 論文標題 インドネシアの大学における中国語教育と大学生の意識 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 福山大学 大学教育論叢 | 6. 最初と最後の頁 39 - 53 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

| |
|---------------------------|
| 1. 発表者名 牧貴愛 |
| 2. 発表標題 タイ華僑崇聖大学の生存戦略 |
| 3. 学会等名 東南アジア教育研究フォーラム |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名 牧貴愛 |
| 2. 発表標題 タイ教師教育研究のこれまで、これから |
| 3. 学会等名 日本比較教育学会第55回大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Takayoshi Maki |
| 2. 発表標題 Decolonizing Methodology: Japanese Comparative educationist perspective |
| 3. 学会等名 The First Biennial Comparative Education Society of Cambodia |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名 中矢礼美、劉国彬 |
| 2. 発表標題 インドネシアにおける華人系大学の特徴 |
| 3. 学会等名 第14回アジア教育学会大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|------------------------------|
| 1. 発表者名 牧貴愛 |
| 2. 発表標題 タイ『国家教育法』改定案の内容分析 |
| 3. 学会等名 第2回東南アジア教育研究フォーラム |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Maki, T., Shimoda, A., & Gondwe, F. |
| 2. 発表標題 Developing Research-oriented Human Resource for Quality Education: Case of Cambodian Students' Graduate Study Experience in Japan |
| 3. 学会等名 The 11th Biennial Comparative Education Society of Asia |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Ayami NAKAYA |
| 2. 発表標題 Curriculum Management System for Sustainable Local Development |
| 3. 学会等名 2nd International Conference on Research of Educational Administration and Management (ICREAM) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|----------------------------|
| 1. 発表者名 劉国彬 |
| 2. 発表標題 卒業生から見た大学の外国語教育 |
| 3. 学会等名 中国四国教育学会第70回大会 |
| 4. 発表年 2018年 |

〔図書〕 計5件

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Punthumasen P., Maki T. | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 Springer | 5. 総ページ数 825 |
| 3. 書名 Handbook of Comparative Studies on Community Colleges and Global Counterparts (Evolution of Community Colleges in Thailand: From Formal Establishment to the Present Time.を分担) | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 中矢礼美 | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 東信堂 | 5. 総ページ数 344 |
| 3. 書名 才能教育の国際比較 (「5章 インドネシアの才能教育」分担) | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 中矢礼美 | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 東信堂 | 5. 総ページ数 152 |
| 3. 書名 若手研究者必携 比較教育学の研究スキル (「第3章 エスノグラフィーのリサーチ・スキル」分担) | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Jaafar, W. N. W., & Maki, T. | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 Springer | 5. 総ページ数 825 |
| 3. 書名 Handbook of Comparative Studies on Community Colleges and Global Counterparts (Roles of Community College for Community Development in Malaysia: Entrepreneurship Education Programを分担) | |

| | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 大塚豊監修、牧貴愛編著 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 一藝社 | 5. 総ページ数 162 |
| 3. 書名 アジア教育情報シリーズ第2巻 東南アジア | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|--|--------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 牧 貴愛 (Maki Takayoshi) (80610906) | 広島大学・国際協力研究科・准教授 (15401) | |
| 研究分担者 | 劉 国彬 (Liu Guo-bin) (00782228) | 福山大学・大学教育センター・准教授 (35409) | |
| 研究分担者 | 中矢 礼美 (Nakaya Ayami) (70335694) | 広島大学・国際協力研究科・准教授 (15401) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| | |
|---------|---------|
| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|